

SALVADOR

小井沼眞樹子宣教師と共に歩む会会報

代表：松本敏之、大倉一郎
事務局：横浜港南台教会 中沢 謙
〒234-0054 横浜市港南区港南台 7-8-29
Tel 045-833-5323 Fax 045-833-6616
郵便振替口座番号：00210 - 2 - 97571

暗闇のなかで待ち望みつ

小井沼眞樹子

☆一時帰国（9月28日－11月9日）

サルバドールに赴任してから8ヶ月を経て、一時帰国しました。さっそく10月2日（日）「世界宣教の日」に横浜港南台教会で説教と宣教報告会をいたしました。報告会には30余名の来場があり、始まったばかりのサルバドール宣教について熱い関心を示してくださり、とても励まされました。



続いて4日（火）には「ラテンアメリカ・キリスト教」ネットの創立10周年記念プロジェクトとして、農村伝道神学校の協力を得て特別講義を実施。テーマ「教皇フランシスコと解放の神学－ラテンアメリカ、そして日本から考える－」のもとで、大倉一郎さん、小井沼眞樹子、渡辺英俊さんが講師を務めました。農伝の神学生、教師を含む50名以上が参加して有意義な学びを共にしました。

アルゼンチン出身の教皇フランシスコ就任以来、その言葉と行動によって、カトリック教会のみならずキリスト教界全体が歴史的変革の動きのなかにあります。そのことをもっと広く共有して、この時代に相応しい教会の在り方へと成長し、導かれますように。

さらに今回の帰国中、もう一つの嬉しい出会いは、10月16日に神戸栄光教会で説教と宣教報告の機会が与えられたことです。そこには野田和人牧師とお連れ合いエウザさんが働いておられます。彼がまだ神学生だった頃、サンパウロ福音教会に2度訪ねて来られ、國光と話し込んでいかれました。その後、夫が病気でサンパウロを去ることになった時、後任の件で野田さんに打診した経緯があります。あいにくその願いは叶えられませんでした。野田さんはそのことをずっと心にとどめて、ある時「信徒の友」誌のなかで「オランダで単身宣教中の小井沼眞樹子師を覚えて祈り、支えていきたい」と書いて下さって、私はその記事を大事に保存していました。

今回、神戸栄光教会に行って驚いたのは、それは美しい煉瓦づくりの立派な教会で、400名以上の会員を擁し、メソジストの流れを汲む大教会でした。そこであのオランダの貧しく小さなメソジスト教会での宣教を、映像と共に紹介することができたのです。



このように地球の両側のメソジスト教会を結ぶ架け橋となれたことは、本当に喜ばしい出来事でした。野田牧師ご夫妻は2年毎に訪伯されますが、来年、教会員と一緒に是非サルバドールを訪問したいと言っておられます。今後の展開が楽しみになってきました。

☆サンパウロにて（11月10日－13日）

11月13日（日）に持たれるサンパウロ福音教会の創立50周年記念礼拝へ出席するために、今回の一時帰国は幾分短くなりました。鹿児島から松本敏之牧師がご子息ミゲル寛之さんと一緒に来伯され、礼拝説教を担当した後、オリンダとサルバドールまで訪ねてくださる段取りになっていました。（詳細は次頁に）

サンパウロに着いた翌朝、いつも泊めてくださる野副さんご夫妻といっしょにイビラプエラ公園に。ジャカランダの花がまだ彩りをそえる木々の間を歩いていると、11年前、両腕がだらりと下り、呼吸も苦しく悲しそうだった國光の姿が鮮明に脳裏に浮かび涙しました。伴侶といえども夫の心中にどこまで心を沿わしていたのか。自らの非人情を省み、それでも赦されて今またブラジルへ戻り、宣教師として生かされていく幸いを心に深くとどめて感謝しました。

記念式には、教会員はもとより近隣諸教会からも懐かしい方々が多数来られて嬉しい再会。松本敏之牧師による心打つメッセージと楽しいユーモア、通訳の日野忍牧師（二世）の明るい人柄と宣教の熱意によって、参会者一同が感謝と喜びに満たされ、希望を新たに歩み続けていくよき節目となりました。

新会堂建築計画について

ヴァレリオ・シルヴァ合同長老教会は教会の現状を憂慮し、現在の立地条件では、地域への伝道奉仕によって参加者の増加を期待することは難しいと判断しました。解決策を検討した結果、敷地内に道路と同じ平面で新会堂を建てることで合意に至り、新会堂建築委員会を立ちあげました。そのメンバーは以下の通りです。

Rev.DAGOBERTO SANTOS PEREIRA 牧師
Girleine Gomes Santos da Silva 会計
Florisvaldo E. da Silva Junior 書記
Eulina Machado Tavares
Neide dos Santos Queiros
Samuel Rocha Moura
Makiko Koinuma 顧問

☆サルバドールに戻って

16日に松本牧師とミゲルさんをお迎えして、1日半、ヴァレリオ・シルヴァ教会をご案内し、よくしゃべり、笑い、音楽やダンスを楽しんで過ごし…再び静かな観想生活に。



洋裁教室でのお茶のひと時

日本やサンパウロで過ごした中身のギュッと詰まった時間、あらゆる意味で「有能な」人々との密度の濃い関わり、あふれる知識、美しい施設、便利な機器…それらすべてを後ろに置いて現場に戻ると、そこは深い暗闇がたちこめているように見えます。人材も設備もないないづくし。高齢教会員のほとんどが病気や怪我で臥し、麻薬がらみの殺人事件が身近に起こったとのこと。20日（日）には出席者は4名で教会学校だけ持って礼拝はせずに散会。礼拝をこそ捧げたかったのがっかり！アドベントを迎えるために、一人奔走してアドベント用品を買い求め、アドベントの賛美歌を練習。27日にはろうそくに1本光が灯り、子ども2名を含む12名が参加！

真の暗闇を知るところにこそ、光が輝くと信じ、待ち望むときを過ごしています。

建築献金へのご協力をお願い

総工費見積もり：500,000レアイス
(1レアル=30円に換算して約1500万円)

募金活動は、ブラジル全土の合同長老教会、および米国の合同長老教会にも協力を呼びかけて展開することになりました。

日本では「共に歩む会」の会計を窓口にして「建築献金」と指定し、お捧げいただければ幸いです。皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

サンパウロ、オリンダ、サルバドールへ 松本 敏之

(共に歩む会共同代表、鹿児島加治屋町教会牧師)

私は、今年 11 月、7 年ぶりにブラジルへ行きました。旅の主な目的は、サンパウロ福音教会創立 50 周年記念礼拝で説教をすることでしたが、この機会に駆け足でオリンダとサルバドールにも足を延ばしました。

10 日(木)、サンパウロに到着すると、早速サンパウロ福音教会へ向かいました。ちょうど高齢の日系人のためのデイサービス・シャロームが行われている日でした。この活動は、かつて小井沼眞樹子さんを中心にして始められたものであり、眞樹子さんの始められた業がしっかりと根を張って継続されていることを見ることができました。

13 日(日)は、サンパウロ福音教会 50 周年記念礼拝と祝賀会。この日、3 代目小笠原勇二牧師、4 代目の私、5 代目故小井沼國光牧師のお連れ合い眞樹子牧師、6 代目作間サムエル牧師、そして 7 代目の日野忍牧師が、壇上に勢ぞろいし、ケーキカットしました。

オリンダには、14 日(月)~15 日(火)の二日間、滞在しました。オリンダのアルト・ダ・ボンダーデ教会は、眞樹子さんが昨年まで 6 年間ご奉仕された教会ですが、私にとっても 1996~98 年の 2 年間、牧師として働いたな



オリンダの保育所

つかしい教会です。18 年前に生まれた赤ちゃんがすでにお母さんになっているのには驚きました。あいにく 15 日(火)は祝日(共和制宣言の日)であり、保育所や職業訓練所の働きを見られませんでした。施設を見学することはできました。保育所に置か

れた新しい遊具や厨房の電気器具や棚は、眞樹子さんの仲介によって日本の教会から送られたものだと伺い、感動しました。

16 日(水)、サルバドールの空港に眞樹子さんと共にダゴベルト牧師が迎えに来てくださり、そのままヴァレリオ・シルヴァ合同長老教会へ直行。ヴァレリオ・シルヴァは、オリンダのアルト・ダ・ボンダーデ同様貧しい地区ですが、何となくのどかな感じがするアルト・ダ・ボンダーデと違い、斜面にぎっしりと家が建てられている風景は都会特有で、リオデジャネイロのファベラ(スラム)を思い起こさせます。教会もまた急斜面の上方にあり、なかなか上にまであがるのは大変です。この土を削って、道路に近いところに新会堂を建てるビジョンを持っておられるとのこと。日本の私たちも協力をして、夢とビジョンを共有したいと思います。



ペロウリーニョ広場にて

17 日(木)、空港へ行く前に、眞樹子さんが



ボランティア活動に参加しているトリンダーデ共同体へ。使用されていなかった教会を利用して、家のない人たちの共同体ができていることに強い印象を受けました。その共同体のビジョンも今後日本の教会でも分かち合いたいと思いました。

最後になりましたが、眞樹子さんの住まいは、比較的高級な住宅地区グラッサにあり、宣教の現場は厳しいものの、住環境は安心できるものであったことをご報告いたします。

会計報告

2016.4.1～2016.11.30

収 入		支 出	
項 目	累 計	項 目	累 計
会費・特別献金		支援金	
利息		海外保険	
		事務費	
		振込手数料	
		会堂使用料	
		集会費	
小 計		小 計	
前年度繰越金		次年度繰越(通常)	
合 計		合 計	

年会費・特別献金者名 (敬称略・順不同)

2016.4.1～2016.11.30

(121名)

建築献金 (敬称略)

(2名)

編集後記 M. T (横浜港南台教会員)

この秋、眞樹子先生は約一か月間の一時期国の中に説教や報告会、講義などのため東奔西走されました。その間も神様に守られて豊かなお働きを果たされた様子が伝わってまいりました。11月にはサンパウロ福音教会50周年記念礼拝に出席されましたが、神さまが天国の囿光様と地上での礼拝をつないでくださったことでしょう。

「共に歩む会」共同代表の松本敏之先生は、サンパウロ、オランダにおいて眞樹子

先生が果たされた宣教の業が根付いていることを報告してくださいました。現在眞樹子先生が赴任されているサルバドールの町の様子や眞樹子先生の住環境についての記事は大変興味深く拝読しました。眞樹子先生はアドベントの準備に孤軍奮闘されているとのこと。讃美歌243番の一節、「闇は深まり 夜明けは近し。夜ごとに嘆き、悲しむ者に、よろこびを告ぐる朝は近し。」が聞こえてきました。そのように祈りつつ静かにクリスマスを待ち望みたいと思います。